



♪聴く人に幸せになつてほしい♪
その想いを大切に、歌い続けたい



ふじさき みなえ
藤崎 美苗さん（48 歳）

西根出身、さいたま市在住

声楽家（ソプラノ歌手）。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。同団体での活動のほか、ソリスト（独唱者）として各演奏会で活躍。また、多数の合唱団を指揮。趣味はジグソーパズル。夫、子どもと3人暮らし。

**エミリー・ディキンソン資料センター
20 周年イベントに出演予定！**

■日時 11 月 6 日（土）午後 2 時から
■場所 町立図書館
■内容 14 頁をご覧ください。

バッハの作品を演奏する「バッハ・コレギウム・ジャパン」の声楽メンバーとして活動する美苗さん。初めて人前で歌ったのは小学 4 年生のとき。文化祭の係決めで、大好きな朗読の「読書」と「独唱」を聞き間違えたことがきっかけで思いもよらず独唱することになった。しかし、友達や近所の人の前での独唱は不思議と緊張しなかったという。

その後は歌う機会が増えていった美苗さん。中学 3 年生の時は、県の独唱コンクールで優秀賞（1 位）を受賞し、高校では音楽の先生になることも考えた。岩手大学在学中、全国トップクラスの環境で音楽を究める先輩の話に感銘を受け、自身も大学卒業後に東京芸術大学に進んだ。同大学院を卒業後、コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして現在まで活動している。

ヨーロッパの第一線で活躍する音楽家と出会うことがコレギウム・ジャパンの魅力と話す美苗さん。モットーは「練習は真剣に、本番は楽しく」。国内外の音楽家との出会いで経験を重ねるうち、自分にしかできないことや演奏全体の調和を大切にしたいと思うようになった。今後は次世代の指導にも力を入れ、永く音楽に携わりたいという。学生時代に歌った経験が今につながっていると振り返る美苗さん。同級生には「あの頃の気持ちでまだ歌っているよ」と伝えたい。金ヶ崎は特別な場所。スタートラインであり、感謝の気持ちでいっぱい目を細める。

広報日記



今月の face 取材は、オンライン会議システム Zoom（ズーム）で行いました。最初こそ慣れずにあたふたしましたが、時間が経つにつれて対面と同じような感覚で臨むことができました。新型コロナが流行しておよそ 1 年半、正月やお盆など、実家に帰りたくても帰れない人も多いと思います。早く何も気にせず行きたいところに行ける世の中になつてほしいと改めて思いました。（村口）

岩手朝日テレビの データ放送で情報配信 !!

- ① テレビを 5 チャンネルにし、リモコンの「d ボタン」を押す。
 - ② 「自治体情報」を選択し、「決定ボタン」を押す。
- ※ 時間帯によって、見つけづらい場所に表示される場合があります。

人口と世帯

8 月 31 日現在

※（ ）内は前月比

人 □	15,512 人	(- 3)
男	7,968 人	(- 13)
女	7,544 人	(+ 10)
世帯数	6,266 世帯	(- 4)